

殺人事件で驚いちゃいけない

老人ホームはトラブルの巣窟

16日、福島市仁井田の養護老人ホーム「福島恵風園」で、入所者の佐藤佐内さん(71)が布団の上で血だらけで倒れているのが見つかった。

通報を受けた福島署に殺人容疑で逮捕されたのは、同園入所者で無職の川崎周容疑者(66)。現場には血の付いた消火器があり、川崎も血だらけで座り込んでいたという。何らかのトラブルにより、川崎は消火器で佐藤さんの頭を殴ったとみられている。

老人同士のトラブルといえども、昨年7月にも老人ホーム入所者の75歳の男が殺人未遂で捕まっている。82歳の女性との交際のもつれが原因だった。全国介護者支援協議会の上原喜光理事長が言う。

「男女間のトラブルは報道が増え、施設側も配慮するようになったことで減少していま



から目線が気に入らない』など、ささいなことから大げんかになるのです」

老親を入居させようにも心配になってくるが、留意するべき点は何なのか。前出の上原氏はこう続ける。

「元会社員と元自営業など、入所するまでの『背景』が違ってもあります。過去の境遇が似ている者同士の方が人間関係もうまくいくので、入所する前にどんな経歴の入所者が多いのか確認するのが自衛策のひとつです。ホームは狭い空間なので、どうしても人間関係が密になりやすい。仕事関係の相手に接するように、プライベートの話には立ち入らず、一定の距離を保つことが重要です」

こんなところにも目配り気配りが大事なのだ。

す。ただ、男性入所者同士のいさかいは日常茶飯事。男性は上下関係をつけたがるし、高齢になるほど感情むき出しで歯止めが利かなくなる。『言葉遣いが鼻につく』『上